

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	川西さくら園		
○保護者評価実施期間	2025年12月2日		2025年12月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年12月2日		2025年12月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月2日		2025年12月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先と利用児・保護者をつなぐ役割を意識して支援をおこなっている。	・訪問先の方針や意向を確認し、人員や環境に負担のない範囲でできる支援の提案を心掛けている。 ・保護者面談の際、訪問先の先生方の取り組みや、その取り組みによっての利用児の表情や活動への意欲等の変化を丁寧に伝えるようにしている。訪問先での様子がイメージできるよう、可能な範囲で写真や動画を使って伝えている。	・利用児・保護者・訪問先のニーズをさらに丁寧に聞き取りを行うことで、それぞれのニーズに応じた支援や、つなぐサポートができるようにする。
2	・必要に応じて、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士などリハビリ職員等と連携をとりながら支援をすすめることができる。	・訪問先でその場で判断が難しい場合は写真や動画撮影をするなど、持ち帰って他の職員と相談の上、支援内容を検討している。	・事業所内の多職種で連携してすすめるケースをより増やす。
3	・保護者との面談の際、訪問先での支援の報告だけでなく、家庭でできる支援についてのアドバイスも行っている。	・訪問先で利用児がより過ごしやすく、訪問先も支援しやすくなるために、保護者ができるポイントも伝えている。 ・家庭での様子やニーズのききとりを行い、積極的にアドバイスを行うようにしている。	・日本語の難しい外国籍のこどもやその保護者も増えており、こどもにも保護者にもわかりやすい説明について、資料作成や面談など工夫がより必要になってきている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・サービスの質を落とさず、訪問支援員の負担が多くなりすぎないようにするための業務の見直しが必要。	・利用者・訪問先双方にわかりやすい資料作成に時間を要することがある。 ・フィードバックがその場ではできない場合、資料を作成し、後日、訪問先に、メールで送らせていただくことがある。	・資料作成の簡素化(フォーマット等の検討)等見直しをしていく
2	・情報共有や連携時間の確保	・各職員がそれぞれに訪問・記録・面談・会議等を実施するため、情報共有のための定期的な時間確保が難しい。 ・現在は、事務所内でその都度、情報共有を行っている。	・どの職員であっても情報共有がしやすくなるように、定期的な会議開催も検討していく。
3			

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 川西さくら園

公表日 2026年 2月 20日

利用児童数 20

回収数 19

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	8	2	0	9	・園の先生とよく話をしてくれて困り事に対応してくれている。 ・動画も撮ってくれて状況が分かり易い。 ・スマホやアプリで写真を見れると嬉しい。	保護者の方とはメールでのやりとりのみで、写真のやりとりは行ってはけません。プライバシーの問題もありますので、慎重に検討していきたいと思います
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	17	2	0	0	・毎回個室面談で安心。 ・他の保護者と会うことを気にされる方もいるかなと思う。	今後も個室で面談を実施します。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	18	1	0	0	・丁寧に対応してくれている。 ・写真付きの資料が分かり易い。	今後も、実施前には丁寧に説明を行います。
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	18	1	0	0	・行事前に訪問してくれて、どうやったら参加できるか先生と話をしてくれる。 ・学校と直接調整してくれて助かる。 ・午前中だけでなく、お弁当の時間もみてもらいたい。	訪問前には日時や、観察を希望する場面等、引き続き丁寧に聞き取りをさせていただきます。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	14	3	0	2	・同じ先生が年度を越えて担当してもらい安心感がある。 ・不満も問題もない ・どんな活動をするのか、誰が行くのか教えてほしい。	活動内容や、訪問する職員などが事前に分かっている場合はお伝えします。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	0	0	0	・特性に応じた対応をしてくれている。 ・困り事を少しでも改善できるように考えてくれている。 ・加配の先生に直接アドバイスしてくれる。	引き続き、お子さんの特性や状況を理解した上で、適切な職員が訪問支援できるように調整をしていきます。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	0	0	0	・親の思いを汲み取ってくれている。 ・きちんと作成されている。 ・丁寧に配慮してくれている。	引き続き、お子さんの特性や状況を理解し、保護者のニーズに合った個別支援計画を作成していきます。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	18	1	0	0	・子どもが過ごしやすい環境に変わってきている。 ・訪問先の先生に困り事を聞いてくれる。 ・訪問先の意向が継続的に盛り込まれているかは疑問。	訪問先の思いや状況等も聞き取った上で作成するように努めています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援の提供すべき具体的な内容も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18	0	0	1	・定期的に確認してくれる。 ・変化に応じて細やかに対応してくれている。	引き続き、ガイドラインを踏まえながら、具体的な支援内容を作成していきます。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	・定期的に訪問し、振り返りも丁寧。 ・お願いした事を実践してくれる。 ・適切に支援してくれている。	引き続き、支援計画に沿った支援を実施していきます。
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	17	0	0	2	・園から苦情を聞かないので、問題なく対応してくれていると思う。 ・訪問日や滞在時間等、訪問先を調整してくれている。	引き続き、訪問先の思いや状況等の聞き取りをした上で、支援するように努めます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧に説明がありましたか。	19	0	0	0	・読み上げてくれ、一緒に確認しました。 ・きちんと説明があった。	引き続き、利用の際には丁寧に説明します。	
13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	19	0	0	0	・定期的にしてきている。 ・丁寧に説明してくれて不明点がない。	引き続き、作成した援計画を見ただけながら、支援内容を丁寧に説明します。	
14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	11	0	4	4	・困り事の対処法や関わり方を、子どもの特性をふまえてアドバイスもらえる。 ・家庭での出来事も相談できる。 ・事業所で活動しているかはわからない。 ・研修等があれば参加したい。	・保護者対象の研修のお知らせの情報共有や、市で実施しているペアレントトレーニング講習等の情報提供をおこなっていきます。	

保護者への説明等	15	必要なときに子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの苦手なところを直接指導してもらえるのは有難い。 ・共通理解できている。 ・メール等でも情報提供できている。 	引き続き、訪問支援の報告面談の時には、お子さんの発達状況や課題等もお伝えし、共通理解のもと、支援します。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・メールや電話等で相談している。 ・自宅でのアドバイスも聞ける。 ・知らなかった事が知れて良い。 ・些細な困り事も親身になってアドバイスもらえる。 	引き続き、訪問支援の報告面談の時や必要に応じて別日を設定し、保護者の気持ちや困り事等を聞き取り、助言します。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの事も、親の事も良く分かってくれている。 ・私が憂められていない子どもの良い部分を見つけて褒めてくれる。 	引き続き、お子さんや保護者に寄り添いながら、支援をしていきます。
	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な相談に対応してくれている。 ・相談した際は適切に対応してくれている。 ・周知・説明があったかと言われると疑問に思った。 	相談があった場合には電話やメールでの対応や面談日を設定し、迅速にかつ適切に対応します。
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・動画や写真を見ながらの振り返りなので分かり易く、丁寧に話を聞いてくれる。 ・適切に対応してくれている。 	引き続き、訪問支援ごとに面談を設定し、保護者の意向を確認しながら支援をするように努めます。
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園の先生も参考になると言っていた。 ・担任の先生の相談に乗ってくれている。 ・適切に対応してくれている。 	引き続き、訪問先施設でのお子さんの様子や状況・困り事を聞きながら、支援・助言を行います。必要な時は電話での対応も行います。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・たくさんやり取りをしてもらい、報告してもらっている。 ・情報提供されており、園生活での困り事をサポートしてくれている。 	引き続き、訪問支援時または別時間を設定し、訪問支援の内容の確認や話し合いを行います。
非常時等の対応	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問後の面談を共有してくれている。 ・いつも事前に訪問日を教えてくれる。 ・後日、写真付きで報告してくれている。 	引き続き、訪問支援を実施した際には、保護者面談の時間を設定し、様子や内容を分かりやすく報告し、共有するように努めます。
	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	9	1	1	8	<ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックされている。 ・ホームページやSNSは見ないので分からない。 	定期的お知らせ等の発信は行っていません。自己評価結果は、HPで掲載します。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ない ・きちんとされている。 	引き続き、個人情報の取り扱いには十分に気を付けます。
満足度	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	9	1	0	9	<ul style="list-style-type: none"> ・確認してくれていると思う。 ・緊急時は多分されていると思うが分からない。 	引き続き、緊急時の対応については、訪問先と連携して行います。
	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・安全配慮がされていると思う。 ・問題ないと思う。 	引き続き、訪問先の計画に基づき、状況に応じた安全確認をした上で支援をしていきます。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	18	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・先生が来るのを楽しみにしている。 ・先生に会えるのを楽しみにしている。 	引き続き、お子さんに負担の無い支援を行っていきます。
28	事業所の支援に満足していますか。	18	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子を聞けたり、こちらの要望も園の先生に伝えて実践してくれるので、保護者も先生も助かっている。 ・一番よく親子の事を分かってくれている存在で、安心です。 ・訪問の様子を教えてもらえるので安心です。 ・訪問ごとに面談があるので、行くのが大変な時がある。学期ごとの面談などまとめてもらえると思う。 	今後も、保護者や訪問先のニーズを聞きながら、より良い、訪問・面談となるように努めていきます。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年 2月 20日

川西さくら園

利用児童数

22名

回収数 22

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的にわかりやすく、取り入れやすいものですか。	21	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に方法を教えてもらえて、ねらいも教えてもらえるので、理解して実践しやすい。 ・職員体制などの状況を理解してできそうな事を提案してくれる。 ・学校でできるレベルのこと、ご家庭でしていただくレベルのことなど、状況を考えて助言をもらえるので分かりやすい。 ・学校側の負担を考えて提案してくれる。 ・子どもの観察を通して、具体的かつ的確に指導助言してくれる。 <p>自閉症スペクトラムのお子さんへの支援で、ホワイトボードに書いて一緒にすると良いとアドバイスをもらい、さっそく園でも取り入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1対1で見れない時にその子だけへの支援が難しい。 ・時間が限られているため、なかなかゆっくり話すことができないので、クラス担任も含めて話ができたらいいと思う。 	訪問先によっては別室にて振り返りを実施しております。今後も訪問先のご希望を伺いながら、必要に応じて別室や別時間での振り返りを実施したり、面談以外の報告方法も導入しながら連携を図ってまいります。また可能な範囲での支援をご提案していますが、今後も複数案の提案を心掛けていきます。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	22	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・体の使い方など専門的な事を教えてもらえるのがあるがたい。 ・対応方法を具体的に、また実践しながら教えていただき、分かりやすい。 ・質問したことに対して、丁寧に理由を加えて説明してくれるので助かる。 ・専門的だが、噛み砕いて説明してくれるのが分かりやすい。 ・支援児の様子をしっかり確認してくださった上で、カンファレンスを通して具体的なアドバイスを頂ける。 ・専門的な部分を取り入れられる。 ・支援員の児童に対する捉え方と支援方法に結びつける事ができた。 ・他児もいるので、良いと分かっているけどもできない支援もある。 	お子さんの進路などもふまえて支援のペースを検討しておりますが、より一層丁寧な聞き取りや、状況の確認を行い支援のペースを見直す機会を多く持ちます。実施が難しい支援方法についても、より良い支援方法を訪問先の先生と一緒に考えていきます。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	22	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいかない所をまずは共感してくれて、自分達の個性も見てそれに合う方法や、ハードルが高過ぎないやり方を提案してくれる。 ・質問の回答をメールでまとめて送ってくれるので共有しやすい。 ・困っている事や、対処できずに悩んでいる事に対して具体的な的確な回答をもらっている。 ・学校でできる取り組みを提案してもらっている。 ・訪問日の該当園児の様子が普段と違う場合があるため、ずれが生じることがある。 	お子さんの様子も、日々変化があることや、様々なパターンがあることを理解して支援をしておりますが、今後もより適切な回答ができるように、訪問先の先生方との連携に努めます。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	19	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・「やってみよう」「これならすぐにできそう」と実践してみたくなる方法を考えてくれる。 ・保護者に直接話してもらえるのは有難い。 ・より良い支援の方法を教えてもらい、実践したらすぐに効果がみられた。 ・統一した関わりが持てるように心がけるようになった。 ・具体的な手立てが分かった。 ・担任間で対応に迷うことも、方向性を教えてもらい改善点が明確になった。 ・保護者とのやり取りがしやすくなった。 ・困っている事を一緒に考えてくれて保育所でやってみようと思えた。 	引き続き、お子さんの評価に加え、訪問先の先生方から日ごろのお子さんの様子をお聞きした上で、お子さんの言動の理由を示しながら支援方法の提案を心掛けます。

5	事業所からの支援に満足していますか。	20	2	0	<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの頑張っている姿と一緒に喜んでくれてとても嬉しい。 ・継続して見に来てくれている事で、スモールステップでその子に合う支援ができています。 ・保護者との連携がしっかり取れている。 ・子どもとの関わりの中で出てくる小さな悩みについても、親身になって聞いてくれて、会話する中で整理できたり、アドバイスをもらえてとても心強く、新たな視点で子どもと関わろうと思える。 ・家庭と保育所の情報や育ちをいつも共有しながら支えてもらっている。 ・学校に負担のないように支援してもらっている。 ・児童の特性について良く知っているし、親身になって相談ののってくれるのは大変有難いが、普通学校でできることと、できないことがある。普通学校での事情や授業内容を考慮した上でアドバイスをしてほしい。 	<p>フィードバックの機会を増やすなどして、訪問先のクラスの状況等により合った支援を心掛けていきます。</p> <p>また可能な支援方法を今後も訪問先の先生方と連携し、可能な範囲で実施できそうな支援方法を模索していきま</p>
<p>その他のご意見</p>						
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> ・お箸の使い方を作業療法士などに聞いてもらい、動画で撮ったりと丁寧な対応で良かった。 ・真剣に該当園児について考えてくださり、有難い。 ・成長を喜び合えて有難い。 ・子どもの困り感、保育者の悩みを丁寧に聞き取ってくれて、共に考える姿勢がとても有難く、毎回感謝している。 ・子どもを見てもらってアドバイスを聞くだけでなく、アドバイスをどのように活かしていくか、受け身の姿勢ではなく、今後の保育所での関わりについて考える場となっています。 ・来てもらうたびに成長を喜んでくださり大変嬉しく、励みになります。 ・これからも、事業所の支援をより多くの児童が受けることができ、クラブ生活が豊かになることを願っています。 ・動画撮影は本人以外写り込まないように細心の注意を払ってほしい。 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>訪問支援は最大月2回まで可能ですが、日程調整が難しいのが現状です。</p> <p>お子さんの状態や、訪問先の状況に応じて、頻度の調整をしており、2か月に1回の場合もあります。</p> <p>今後も訪問先と協議しながら、決めていきたいと思います。</p> <p>また写真や動画の撮影に関しては、必ず訪問先に了承を得たうえで、他のお子さんの映り込みに配慮しながら実施しておりますが、日によって撮影不可である場合などを想定し、お伺いしながら実施いたします。</p> </td> </tr> </table>					<ul style="list-style-type: none"> ・お箸の使い方を作業療法士などに聞いてもらい、動画で撮ったりと丁寧な対応で良かった。 ・真剣に該当園児について考えてくださり、有難い。 ・成長を喜び合えて有難い。 ・子どもの困り感、保育者の悩みを丁寧に聞き取ってくれて、共に考える姿勢がとても有難く、毎回感謝している。 ・子どもを見てもらってアドバイスを聞くだけでなく、アドバイスをどのように活かしていくか、受け身の姿勢ではなく、今後の保育所での関わりについて考える場となっています。 ・来てもらうたびに成長を喜んでくださり大変嬉しく、励みになります。 ・これからも、事業所の支援をより多くの児童が受けることができ、クラブ生活が豊かになることを願っています。 ・動画撮影は本人以外写り込まないように細心の注意を払ってほしい。 	<p>訪問支援は最大月2回まで可能ですが、日程調整が難しいのが現状です。</p> <p>お子さんの状態や、訪問先の状況に応じて、頻度の調整をしており、2か月に1回の場合もあります。</p> <p>今後も訪問先と協議しながら、決めていきたいと思います。</p> <p>また写真や動画の撮影に関しては、必ず訪問先に了承を得たうえで、他のお子さんの映り込みに配慮しながら実施しておりますが、日によって撮影不可である場合などを想定し、お伺いしながら実施いたします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・お箸の使い方を作業療法士などに聞いてもらい、動画で撮ったりと丁寧な対応で良かった。 ・真剣に該当園児について考えてくださり、有難い。 ・成長を喜び合えて有難い。 ・子どもの困り感、保育者の悩みを丁寧に聞き取ってくれて、共に考える姿勢がとても有難く、毎回感謝している。 ・子どもを見てもらってアドバイスを聞くだけでなく、アドバイスをどのように活かしていくか、受け身の姿勢ではなく、今後の保育所での関わりについて考える場となっています。 ・来てもらうたびに成長を喜んでくださり大変嬉しく、励みになります。 ・これからも、事業所の支援をより多くの児童が受けることができ、クラブ生活が豊かになることを願っています。 ・動画撮影は本人以外写り込まないように細心の注意を払ってほしい。 	<p>訪問支援は最大月2回まで可能ですが、日程調整が難しいのが現状です。</p> <p>お子さんの状態や、訪問先の状況に応じて、頻度の調整をしており、2か月に1回の場合もあります。</p> <p>今後も訪問先と協議しながら、決めていきたいと思います。</p> <p>また写真や動画の撮影に関しては、必ず訪問先に了承を得たうえで、他のお子さんの映り込みに配慮しながら実施しておりますが、日によって撮影不可である場合などを想定し、お伺いしながら実施いたします。</p>					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		川西さくら園		公表日		2026年 2月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・運営・体制整	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	4	0	・必要な物は準備して持参している。 ・見本を見せ、訪問先で作成可能な物や、代替え可能なものを提案するようにしている。 ・その都度、訪問先に合わせて準備している。		
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	1	・可能な訪問先は複数人で行くことで、視点が広がることと、人材育成に繋げるようにしている。また、結果的に記録の分担など負担軽減に繋げている。 ・ケースが増えているので、負担が大きくなっている。	・ケースの増加による職員の負担の大きさについては、訪問人数・記録の簡素化・訪問や面談時間の調整をしながら、質を落とさず、負担軽減となる業務の見直しをしていきます。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・関係する職員でその都度話し合いの場を設け、具体的な対応方法を挙げて実行している。 ・伝え方等、上司と常に確認しながら支援を行っている。 ・継続ケースや、1人担当ケースについては、チームとしての共有がもう少し必要。	・今後も業務全般や、ケース対応についてのPDCA サイクルを行い、改善に努めます。 ・継続ケース 1人担当ケースについては、必要に応じて、今後も共有を心掛けていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・保護者からの声を聞きながら、支援の見直しをその都度気を付けるようにしている。 ・訪問実施後の面談でも聞き取りを行い対応している。		
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・気づいた時点で気軽に提案できる環境にある。 ・常に情報交換できるように、日々連絡、報告を心がけている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	・外部評価を得るシステムが構築できていない。	・センター全体の第三者評価は書類等の内容での実施が多く、療育内容や、保育所等訪問に関する外部評価を得ていないため、今後実施に向けて検討が必要です。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・国内外で色々な研修を受けられる体制である。 ・職員向けの研修はその都度周知されており、参加希望の際は、業務の協力体制をつくるようにしている。		
適切か	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	4	0	・子どもや保護者のニーズを聞き取った上で、課題に対してどのように取り組んでいくか、見通しを伝えながら、現段階の支援計画を作成するようにしている。 ・経験に頼るところが多く、客観的に分析できているかどうか不安な面もある。	・今後も適切なアセスメントを行い、ガイドラインを参考にしたり、悩む際には職員間で話し合い、計画を作成していきます。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・児発管と定期的な意見交換ができています。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	4	0	・訪問の最後には毎回カンファレンスで保護者のニーズを伝えるとともに、訪問先の職員が感じている課題にも着目し、両者のすり合わせを行いながら計画を作成している。 ・事前に聞き取り用紙に希望を記入していただいで開始するようにしている。また、訪問の際に、その都度意向を確認するようにしている。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・関係職員が用紙上も、データ上も見れるようになっている。 ・一人で実施しているケースについては、他職員への情報共有が少なくなるため、共有する機会を意識して作る必要がある。	・職員間でケースの情報共有を意識して、計画に沿った支援を行っていきます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・他機関で取った検査結果など保護者の了解を取り確認させてもらうことで、インフォーマルなアセスメントの裏付けにしている。		

支援の提供	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・常に具体的な支援を心がけている。 ・ガイドラインを頻繁に見直すことはできていないため、定期的な確認が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も具体的な支援は心掛けていきます。 ・ガイドラインの確認を意識することと、その都度見返すことができるようにしていきます。
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも見れるようにしている。また、複数職員で確認している。 	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・行く前日または当日に話ができていると思う。 ・複数で行く際は、ケースの振り返りポイントの確認を行うようにしている。 ・単独で支援に行くことも多く、役割分担は行っていないこともある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援開始前に職員間で打ち合わせを行い、今後も情報共有や連携を意識して支援していきます。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換している。 	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・支援方法を提案する際に、確認するようにし、必要であれば別の提案や譲歩した提案を行っている。また、経緯等を保護者にも伝えている。 ・訪問先の保育教育内容や、支援方法、可能は人員配置など、常に確認してから支援についてアドバイスを行っている。 	
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録は必ずとっている。 ・個人情報に配慮しながら写真や動画で記録を残している。 ・可能な限り写真撮影をし、イメージしやすい記録となるようにしている。 	
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その都度必要な支援について意向を確認している。 	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・できているのかは分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、担当者や必要に応じて管理職等、こどものことを理解している職員が必要に応じて実施・参加し、連携に努めていきます。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・システムとしては構築できていないが、必要に応じて依頼し、連携できる機関が増えてきている。 ・教育支援会議への参加や、市の会議や市の研修に協力し、訪問支援以外でも連携をとるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も訪問や研修、会議を通し関係機関と連携をはかっています。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの現状や支援方法など、保護者と一緒に作成し、必要であれば口頭でも説明するようにしている。 	
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・希望する研修には参加できるよう、職員動態の調整など積極的に行ってもらえる環境である。 ・外部研修は積極的に周知しているが、内部の業務内容の助言を受ける機会を設けてはいないため、今後検討が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内部の業務内容の助言を受ける機会については今後検討が必要です。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援協議会には管理者が参加している。就学前特別支援教育・保育研修会等、地域の就学前児の会議には参加し連携をとっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後も地域と連携しながら進めていきます。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談に加えて、日頃から声をかけるなど、関係作りを心がけている。 	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問の保護者については、研修の機会がないため、今後、計画が必要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も各種研修や市主催のペアトレの情報提供を行っています。
27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 利用契約時に、丁寧に説明している。 		
28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前にどのような支援ができるかを、説明するようにしている。 		
29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談や文書にて確認をとるようにしている。 		
30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> 保育所等訪問支援計画を保護者に見せながら、丁寧に説明し、同意を得ている。 		

保護者等への説明等	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・訪問支援に行くたびに振り返りの面談を行っているため、その際に聞き取りを行っている。 ・面談時間が長くなり過ぎるケースもあり、時間の事前の周知が必要。	・面談時間については、事前の周知などを行いながら、お互いに負担の少ない面談ができるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	1	・OB保護者との交流会を実施。 ・働いている人も多く、設定することが難しい。	・就学前の保護者とOBの保護者の交流会の実施をすすめていきます。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	・保護者からのサインがあれば、職員間で周知し、対応するようにしている。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	2	2	現在は、保育所等訪問支援を実施していることを、HPに記載しているのみです。	・HPやSNSでどこまで情報提供していくか検討が必要です。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・記録写真は他の児童がうつらないように撮影したり、写っている際には必ず特定できないように配慮して、保護者に情報提供している。 個人の記録は鍵のかかるロッカーに保管している。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・イラストや写真、翻訳アプリなどを活用しながら、それぞれの人に合わせた伝達方法を使っている。 ・子どもからのサインを出させる機会をもう少し作っていく必要がある。	・今後も、お子さんや保護者の意思確認を丁寧にを行い、わかりやすい情報伝達や、配慮を心掛けていきます。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	4	0	・出来る限り対応している。 ・訪問の都度、訪問先の意向を確認している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	4	0	・毎回は難しい訪問先も多い為、訪問先の意向を確認しながら、負担のない時間で実施している。 ・メールでやり取りすることで、カンファレンスで十分時間が取れない際に、相互の情報共有を行っている。 ・保育時間内に実施するため、人手不足の園所では十分に時間を取ることが難しい場合もある。	・今後も、訪問先の意向を丁寧に確認し、負担になりすぎない形での情報共有の仕方について対応していきます。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	4	0	・訪問後に面談の機会を設け、支援の報告を行うとともに、課題に対して支援先で取り組む事、家庭で取り組む事を確認、整理している。	
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	・記録写真は、他の児童がうつらないように撮影したり、写っている際には必ず特定できないように配慮して、保護者に情報提供している。 ・個人の記録は鍵のかかるロッカーに保管している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	4	0	・支援対象児だけではなく、日頃気になっている事や、他に気になる児の相談にも適宜応じるようにしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	1	・事業所内では策定し、訓練等を行っている。	・訪問時の緊急時に関しては、各訪問先の指示に従い連携して動いていく必要があります。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・事業所内では作成し、安全管理に気をつけている。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	・ヒヤリハット記録を作成し、ヒヤリハットがあったときには、職員で共有し、方策について検討している。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	・定期的にみんなで考える機会を作っている。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	・個別支援計画に明記するようにしている。		